

観測データの流通・公開に 関する現状と課題

平成28年11月29日
地震本部事務局

観測データの流通・公開に関する検討の経緯

①地震に関する基盤的調査観測等の結果の流通・公開について (平成 14 年8月26 日) 調査観測結果流通WG

当時の基盤的調査観測等の結果の流通・公開の基本的考え方をまとめると同時に、基盤的調査観測ごとのデータの流通・公開状況や今後の推進方策についてまとめた。

②機動的な地震観測のデータの公開に関する方針(平成 19 年2月2日) 調査観測データ流通・公開推進専門委員会(機動的な地震観測データ公開WG)

機動的な地震観測(基盤的調査観測に加える形での地震観測)のデータ公開の方針をまとめた。文科省からの委託事業については、観測を実施した機関がデータを公開し、長期間の安定保存のために二次的なデータ保管機関を設けることとしていた。

③地震に関する総合的な調査観測計画～東日本大震災を踏まえて～ (平成 26 年8月27日) 調査観測計画部会

基盤的調査観測については、主な状況と今後の推進方策を整理。委託の形で行われることが多い重点的調査観測についても、データの流通・公開に努めることが必要、とされている。

観測データの流通・公開 現状の取組と課題

○現状の取組

- ・ 基本的に、実施機関がそれぞれで観測データを公開
- ・ 総合部会、政策委員会での議論を踏まえ、地震本部HPに「データ公開ポータルサイト」を整備、今年9月より公開。

○課題

- ・ 委託調査等で実施されている観測データが全て公開されていない、との指摘が存在。
- ・ 一部の観測データは電子化されておらず、他の研究者から見ると使いにくい状態になっている。
- ・ 関係機関に、いつまでにどのようなデータをどのような形式で公開することを求めるか、統一的な基準がない
(=「データ公開ポータルサイト」に運用指針(ガイドライン)がない)
- ・ データの保管体制が整っていない調査観測は、データ散逸の恐れがある

データ公開ポータルサイト

地震本部や関係機関が保有・公開している様々なデータの利便性向上のため、今年9月に地震本部HPに開設したサイト。(ホーム > データベース > データ公開ポータルサイト)

利用者が必要とするデータを探し易くするよう、様々なデータを内容に応じて分類。

地震本部
Earthquake Research Promotion Headquarters

文字のサイズ 小 中 大 日本語 | English Google™ カスタム検索

地震本部とは 地震・津波の知識 地震に関する評価 計画と予算 データベース

データベース > データ公開ポータルサイト

データ公開ポータルサイト

震源関連
震度関連
発震機構解、震源過程
歴史地震、被害地震等
波形関連
津波関連
活断層関連
地下構造関連
地質関連
測地・地殻変動関連

データ公開ポータルサイト

地震本部や関係機関が保有・公開する様々なデータの利便性向上のため、既に公開されているデータを整理しました。今後、公開可能なデータについて順次公開していく予定です。

なお、関係機関が公表するデータについては、それぞれのウェブページにて、公表の目的やデータの性質、精度を十分ご確認のうえご利用ください。

震源関連

【最新の地震活動】

 最近の地震活動（速報値）（気象庁）
気象庁の自動処理震源で、前日から本日（約30分前まで）の、地震活動状況を掲載しています。10分毎に更新されます。

 震源に関する情報（気象庁）
最大震度3以上の地震について地震の発生場所（震源）やその規模

データの名称、保有・公開機関、内容の説明を記載。ここから各ウェブページにアクセス可能。

今後の対応策例

○短期

- ・ 文科省委託事業については、実施機関に観測データの公開・保存、及び必要経費の計上を求める旨の指針を策定する
- ・ 総合部会で毎年度行う予算ヒアリングにおいて、「総合的な調査観測計画（平成26年）」の進捗について関係機関へ報告を求める

○中期

- ・ 「データ公開ポータルサイト」の運用指針（ガイドライン）を策定する

○長期

- ・ 「地震調査研究データセンター（仮称）」の設立について、必要性を含めて検討する